

地域農業の発展を目指して。生産から加工・販売まで。 (株式会社 六星)

＜法人の概要＞

所在地：石川県白山市中奥地区

設 立：平成19年3月

資本金：2,430万円 売上高：9億8千万円（平成26年度）

構成員（議決権）：農業従事者32名（100%）

役 員：9名（うち農作業従事9名）

従業員数：常時雇用者34名、臨時雇用者 115名

経営面積：145ha（うち借入145ha）

基幹農作業受託面積：12ha

作付作物：米138ha、野菜6ha 等



全国から集まったスタッフ



田んぼで働く若手社員

＜営農を開始するまでの状況＞

白山市中奥地区は、霊峰白山のふもと、手取川にひらかれた加賀平野のほぼ中心部に位置する平地農業地域である。

昭和51年、農協の勧めで同地区内の稲作農家6戸がレタスの共同栽培を開始。翌年「中奥六星生産組合」を結成し、レタスの共同栽培を行うとともに水稻の作業受託やプリンスメロンの栽培を始めるなど新たな取組を開始。54年に同組合員5戸で「農事組合法人六星生産組合」を設立した。

同農事組合法人は、周辺農家からの依頼を受けて農地を借り入れ経営面積を拡大するとともに、ライスセンターや餅の加工場、直売所等を整備するなど、生産から加工・販売までを自ら行う体制を整備。その過程で平成元年には有限会社、19年には株式会社に組織を改編した。

現在は、中奥地区を中心に約145haの農地で米や野菜を育てるとともに、加工品の種類や生産量を増加させ、直売所やレストランの経営を行うなど6次産業化にも積極的に取り組んでいる。

<特徴的な取組>

コシヒカリを中心に農薬を使用を控えた特別栽培米を生産するなど、お客さんに喜ばれる農産物を生産している。

直売所を3店舗整備。白山市の本社に併設した「むつつぼし松任本店」では、目の前の畑でとれた新鮮野菜やつきたてのお餅などを販売し、金沢市内の住宅地にある「むつつぼし金沢長坂店」では、物販に加えランチが食べられるレストランも運営している。また、金沢駅構内にある「金沢百番街すゝめ」では、人気の塩豆大福や豆板餅などお土産需要に応える商品を販売するなど、それぞれの立地条件や客層を意識した直売店の運営を行っている。

また、一般企業並みの条件で従業員を募集し、待遇面も整備。意欲ある若いメンバーを採用し、順次管理職的な役割（マネージャー）を任せ、各マネージャーに事業を推進するための方針や計画を立てて実行させるなど、会社の柱となる人材の確保・育成に力を入れている。

販路については自ら開拓し、主に餅はスーパー、百貨店において販売しているが、食材にこだわりをもつ業務用飲食店や加工メーカーなどとの取引も増加させている。

<今後の農業経営の展開方向>

今後も高品質で安心・安全な農産物を生産していきたいと考えている。

地域においては、高齢化の進行により遊休農地の発生が懸念されるので、地域の農業の継続のために、離農の受け皿として依頼があれば今後も農地を借り入れていきたいと考えている。地域農業者との連携も強化していきたい。

また、新たなコメ加工品の開発やマーケットの開拓などにも注力していく予定で、海外も視野に入れている。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

法人化後は、「企業」としての経営理念を持ち、販売経路の確立等を行うことが必要である。また雇用を伴う場合は、雇用した人の雇用条件整備や育成・登用も同時に進めていく必要がある。



直売店で人気のお弁当・お惣菜コーナー



金沢駅構内の直売店は塩豆大福をブランド化